

第 1 回 理事会議事録

1.開催日時及び場所

- (1)日 時 平成 30 年 5 月 6 日(日) 午後 13:30～15:00
(2)場 所 親蔦会クラブ

2.出席者 理事 13 名・相談役 0 名・監事 2 名・顧問 1 名(教頭) 次期理事 2 名 計 18 名

3.付議事項

1. 平成 29 年度事業報告及び会計収支(案)に関する件
2. 平成 29 年度会計監査報告
3. 平成 30 年度事業及び予算案に関する件
4. 理事会組織変更に関する件
5. 各委員会活動報告に関する件
6. その他

4.議事

議事に先立ち、神原新教頭にご挨拶を頂いた。次に徳田新事務長(Y34)と新校内理事の森岡先生(Y37)にご挨拶頂いた。その後、山本会長が議長に就任、議事録署名人に次の 2 名を指名し、会場に異議を問うたところ、会場から異義なく拍手にて承認された。

水田 節子 山口かつみ

議題

1. 平成 29 年度事業報告及び会計収支(案)に関する件

配布資料に基づき事務局より報告。

第 87 回総会は参加 70 名。今回は神戸倶楽部にて実施。アトラクションは「ダイヤモンドペンチアース」にお願いした。親蔦会負担費用は¥46,692 だった。第二回親蔦会文化祭は 10/22 に実施。当日は台風 21 号の接近による警報発令で在校生(ギター部、コーラス部)の参加が不可となり、又、朝からの大雨の為参加者も少なかった事が残念だった。参加者 60～70 名と思われる。

親蔦会費用負担は¥148,084 だった。

総会、文化祭と蔦発行費用及び親蔦クラブブラインド更新の会計報告は添付資料参照頂きたい。

理事会等の開催は配布資料の通り。月 1 度のオープンデーは人材バンク登録者の皆様に講演を頂く等色々工夫を凝らした催しを開催中。各委員会活動報告は議題 5 で報告。

各支部活動は首都圏は 6/25(日)外国人記者クラブにて実施。140 名の参加があった。脚本家の Y32 井上由美子さんに講演頂いた。近畿圏は 9/23 ホテル・ホップインアミングにて実施 78 名参加。

母校よりコーラス部の出演を頂いた。中国支部は今回より中国四国圏会と改称し、1 名の四国在住者を交えて 11/26 ピュアリティまきび(岡山)にて実施 25 名参加。西住会長による「ほんなかいな講座」の後、後楽園を散策した。九州圏会が設立式を実施 3/10、博多天神にて 13 名の参加があった。初代会長を Y32 西川恵三氏が務める。

昨年 4/10 の入学式には山本会長、2/28 の卒業式も山本会長が参列。その前日の親蔦会入会祝贈呈式には戸田副会長と三橋副会長が参列し、式後、各クラス代表者にお集まり頂き、親蔦会入会歓迎と、会の活動方針や存在意義等を説明した。

会計収支を配布資料に基づき報告。貸借対照表、財産目録、収支予算事業別区分内訳書並びに報告書、財務諸表に対する注記、附属明細書を添付しているので確認頂きたい。この諸表は 5 年会費は 1 年分にして計算してある為、実質の昨年収支は、「現金及び預金内訳表」に記載の旧一般会計で示

し、実質 88 万円の現預金の減少となった。この所会費納入率が低下してきており(5 年前より百万円減少)、今後何らかの対策が必要と思われる。年初予算との差異は配布資料の通りである。ほぼ予算通りで推移している。母校援助活動支出は部活援助基金から 30 万円と運営費から 10 万円を毎年支出している。以上、出席者一同より拍手にて承認された。

2. 平成 29 度会計監査報告

中島監事より監査終了を報告。

3. 平成 30 年度事業日程案及び予算案に関する件

配布資料に基づき報告。会報「薫」は今年から A4 版にサイズ変更した。

総会は今年も北野の会員制クラブである神戸倶楽部で実施する。中々入れない場所なので是非多数の参加をお願いしたい。今年はアトラクションとして、夢高ギター部と、Y51 回生のプロギタリスト山崎由規氏に演奏をお願いした。コラボ演奏の可能性を模索中である。

理事・企画委員会等の行事予定は資料参照願う。親薫クラブ開放日は昨年同様に月 1 回実施を継続。色々な行事を今後計画していく。行事予定はホームページに掲載するので確認願いたい。

研修旅行は南あわじ市沼島への旅を計画。くにうみ神話の島で、個人では中々行きにくい場所なので多数の参加をお願いする。各種委員会活動報告は議題 6 で報告するのでここでは割愛する。

各支部親薫会予定は配布資料の通りとする。

予算に関しては、主に昨年実績を元に予算化。今年は文化祭の代わりに研修旅行を実施するので、会議費予算を昨年より 14 万減、旅費交通費予算を 55 万増とした。親薫クラブブラインドの更新が終了した為、管理費予算を削減した。他は概ね昨年と同様の予算となっている。以上、出席者一同より拍手にて承認された。

4. 理事異動の件

本年度は大多数の理事が任期満了となり、退任や重任の手続きが必要となる。又、校内理事の先生 2 名が交代となる。本年度理事会組織は資料の通りである。総会終了後法人登記を実施する。

退任	顧問	教頭	紺野和人
	理事	後藤静子(K14)、水田節子(Y14)、新井成京(Y26)	
	校内理事	山田要介(Y44)、平家正久(Y46)	
	監事	事務長 森本利幸	
新任	顧問	教頭	神原吾朗
	理事	向原廣章(Y19)、山本誠一(Y20)	
	校内理事	小山政人(Y34)、森岡礼次(Y37)	
	監事	事務長 徳田幸夫(Y34)	

以上を踏まえた新体制は以下の通りとする。

新体制 会長(代表理事) 高 20 山本 幸男

副会長	高 16 渡辺 和彦、高 18 戸田 陽子、高 24 三橋 敏弘
理事	女 18 宮本 喜久子 高 6 白石 美弥子 高 8 岡崎 静枝、高 17 山口 かつみ、 高 19 向原 廣章 高 20 宮原 眞、高 20 富士水 英一、高 20 向田 敬三、 高 20 山本 誠一 高 32 藤原 智子、高 32 曾田 千恵子、高 36 細川 正直、 高 42 横畑 和幸
校内理事	高 34 小山 政人、高 37 森岡 礼次
監事	高 18 中島 裕子、高 24 堀江 聖子 事務長 徳田 幸夫(高 34)
顧問	学校長 藤田 浩毅、教頭 神原 吾朗
相談役	高 4 繁田 愷、女 14 後藤 静子

以上、出席者一同より拍手にて承認された。

5. 各委員会活動報告に関する件

各委員会委員長より活動報告を実施

- ① 総務委員会(向田委員長)
総会の式次第の検討を行った。今回の司会は Y32 藤原智子氏が担当。新設の九州圏会より西川会長が参加予定。今年のアトラクションは在校生(ギター部)の為、会食前に実施。
- ② 年間行事企画委員会(渡辺委員長)
10/22(日)に第二回の親蔦会文化祭を開催した。当日台風で大変だったが、無事終了できた。親蔦会文化祭の件は、地元徐徐に浸透しつつある。今後も継続していきたい。
- ③ 会費納入促進委員会(宮原委員長)
会費納入率低下の対策として、特定の学年に的を絞って未納入の会員にお願い文を郵送するものとする。先ず、理事会所存員がいる Y36, Y34, Y32, Y20 を当面のターゲットとする。
- ④ 研修旅行委員会(水田委員長)
今年は淡路の沼島へ旅行する。多数の参加をお願いしたい
- ⑤ 広報委員会(大江事務局長が兼任)
今年からサイズを B5⇒A4 に変更した。変更に伴い記事掲載できる面積が大幅に増加する。今後広く原稿や写真を公募すると共に、年間を通して編集会議を開催しアイデアを練っていく。
- ⑥ ホームページ充実化委員会(富士水委員長)
ホームページの刷新が進んでいるので、とにかく多数の方に見て頂きたい。今後は一方通行でなく双方向でのやりとりが出来る形に活性化していきたい。
- ⑦ 総会活性化委員会(戸田委員長)
今年の総会も神戸倶楽部で実施する。アトラクションはギター部とプロキタリスト Y51 山崎由規氏に演奏をお願いしている。中々行けない場所なので多数の参加を期待する。

6.その他

・夢野台高校教職員異動報告

事務局より報告。新教頭として神原吾朗先生が就任された。又 Y37 森岡礼次先生が転任され校内理事として就任された。

・親蔦会創立 90 周年記念事業の件

会長より、再来年の創立 90 周年記念事業の計画と各部門の進捗状況について説明があった。90 周年にちなんで 900 名の参加と 900 万円の寄付金を目標としたい。各部門の進捗状況はそれぞれ責任者より報告があった。

5. 閉会

最後に議長は、それ以上の動議の無い事を会場に確認の上、閉会を宣した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議長及び議事録署名人は次の通り

記名捺印する。

平成 30 年 5 月 17 日

議 長	山本 幸男	印
議事録署名人	水田 節子	印
議事録署名人	山口 かつみ	印